備前市事務事業評価シート

（平成21年度事業）

事業の概要

事業開始年度			S46～	根拠法令・例規等	国立公園法
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	問合先 担当課（室）	商工観光課
	中項目	基本施策	03 個性あふれる観光のまちづくり	職・氏名	観光係長　高橋　幸子
	小項目	施策	01 観光	電話	64－1832（274）
事務事業名			03 国立公園等管理事業	このシート作成に要した時間	7.0 時間

事業の目的

対象（誰・何に対して）	備前市を訪れる観光客
目的（何のために）	瀬戸内海国立公園,中国自然歩道を有効活用し、観光客増につなげるため
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	国立公園内の観光地の施設整備を行い、観光客増につなげ、地元経済効果に寄与する。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
夕立受山等管理事業	瀬戸内海国立公園日生諸島、夕立受山、吉井川中流県立自然公園の維持管理等。	◎
国立公園協会負担金事業	国立公園内の新規施設整備を行うためには(財)国立公園協会へ加入が条件となっているため１０，０００の負担	△
日生諸島管理業務	日生諸島の観光施設の清掃及び草刈りを実施することで、訪れる観光客等によいイメージを持っていただくため。	○
中国自然歩道管理事業	本地域に残された美しい自然の中を歩いて豊かな自然に親しみ、また郷土の歴史文化に触れることを目的とし設置された中国自然歩道の維持管理。	○

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

決算額

事業費等	単位	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績	
事業費 直接事業費	千円		830		756		1,947
事業費 必要人員 人件費	千円	0.10人	792	0.08人	665	0.11人	997
事業費 事業費計	千円		1,622		1,421		2,944
財源 国県支出金	千円		756		756		756
財源 受益者負担	千円						
財源 繰入金	千円						
財源 市債	千円						
財源 その他（　）	千円						
財源 一般財源	千円		866		2,003		2,188
受益者負担比率	%		－		－		－

結果指標

結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
管理委託件数	説明			
結果指標量	件	397	395	397
対前年比	%	－	99.5%	100.5%
活動コスト	円	1,622,000	2,759,000	2,409,000
単位当たりコスト	円	4,086	6,985	6,068

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
施設維持管理	目標値（A）	適正な管理	適正な管理	適正な管理	適正な管理
	実績値（B）	397	395		到達目標値
	達成率（B/A）	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	毎年

成果指標設定の考え方・式や説明

当初の予算通りの適正な管理を行う

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

事務事業の評価

妥当性の評価

市の関与の妥当性・必要性

- ☑ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
- ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- ☐ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>: **C**

効率性の評価

コスト手段

- ☐ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- ☐ 受益者負担率は適正である
- ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
- ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- ☐ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>: **C**

有効性の評価

目的達成度

- ☐ 成果指標の設定は適切である
- ☐ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- ☐ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
- ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- ☐ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- ☑ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>: **C**

進行年度（H22年度）の改革改善内容

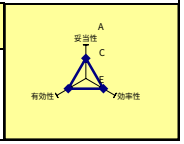
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：瀬戸内海国立公園、中国自然歩道の保全のため、既存施設を適正に管理しながら、観光施設としていかに活用するか、その方策を検討する必要がある。

総合評価

国立公園は重要な国民の財産であり、その管理は適正に行わなければならない。施設をきれいに維持管理することで誘客を図るとともに。今後観光資源としていかに活用していくかを検討していく必要がある。

評価区分 <A～E>: **C**



平成23年度の方向性 及び 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：施設の維持管理に努め、いつでもお迎えできる状態に管理しておく必要がある。